

平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月11日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL <http://www.owill.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月27日 配当支払開始予定日 平成30年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期の連結業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	31,033	10.4	439	34.6	461	39.4	300	48.1
29年3月期	28,121	1.2	326	28.2	331	22.1	202	24.3

（注）包括利益 30年3月期 279百万円（3.1%） 29年3月期 270百万円（58.6%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	95.29	—	13.8	4.6	1.4
29年3月期	64.34	—	10.2	4.1	1.2

（参考）持分法投資損益 30年3月期 一百万円 29年3月期 一百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	11,197	2,308	20.2	717.86
29年3月期	8,709	2,123	23.8	658.35

（参考）自己資本 30年3月期 2,261百万円 29年3月期 2,073百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	△64	△84	250	1,820
29年3月期	291	△15	158	1,735

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	94	46.6	4.6
30年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00	103	34.6	4.6
31年3月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00		33.0	

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,703	3.0	324	3.2	331	8.8	220	1.1	70.00
通期	31,500	1.5	463	5.4	477	3.3	315	5.0	100.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 0社、除外 0社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

30年3月期	3,150,000株	29年3月期	3,150,000株
30年3月期	211株	29年3月期	211株
30年3月期	3,149,789株	29年3月期	3,149,789株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	30,488	11.6	433	55.2	461	57.3	298	63.2
29年3月期	27,319	1.7	279	19.5	293	14.2	182	13.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	94.75	—
29年3月期	58.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	11,104	2,285	20.6	725.72
29年3月期	8,491	2,088	24.6	662.92

(参考) 自己資本 30年3月期 2,285百万円 29年3月期 2,088百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が拡大し、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いており、個人消費についても底堅く推移いたしました。また、世界経済においては、米国の政策動向や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクなど、景気の先行きに不透明感はあるものの、全体的に緩やかな回復基調となりました。

食品飲料業界におきましては、消費者の健康志向や個食需要の増加など、多様なニーズに合わせた商品開発が活発化しておりますが、国内市場の縮小や原材料価格の高騰により厳しい経営環境が続いております。また、安全で高品質な商品を求める消費者の声は引き続き多く、企業は更なる品質管理体制の強化を求められております。

このような状況のもと、当社グループは「お客さまに十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制を維持・強化し、取引先のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの質の向上に努めてまいりました。当連結会計年度におきましては、特に、主力カテゴリーの販売強化や取引先の拡大に注力し、国内事業及び海外事業の基盤強化を図ってまいりました。主力事業である卸売事業において、主力商品の取引数量増加にともない、物流コストや販売活動にかかる諸経費が増加したものの、食品副原料、乳及び乳製品、農産物加工品の取扱いアイテム数並びに取引数量の増加に加え、利益率の改善に努めたことから、収益は増加いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高31,033,847千円（前年同期比10.4%増）、営業利益439,383千円（前年同期比34.6%増）、経常利益461,785千円（前年同期比39.4%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は300,132千円（前年同期比48.1%増）となりました。

また、総資産は11,197,016千円（前年同期比28.6%増）、純資産は2,308,067千円（前年同期比8.7%増）となり、自己資本比率は20.2%となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

当連結会計年度の清涼飲料市場は、東日本を中心とした夏場の天候不順による影響はあったものの、機能性飲料やスムージーなど、健康をキーワードにした飲料が伸長し、堅調に推移いたしました。メーカー各社は、主力ブランドを中心に商品開発に注力し、収益構造の転換を図っておりますが、企業間競争の激化や原材料価格の上昇など、国内の経営環境は厳しく、海外市場の開拓や他事業への展開を推し進めております。

このような状況のもと、当社グループは、取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先への販売アイテムの拡大や利益率の改善を図ってまいりました。原材料価格の高騰や企業間競争などにより、香料やエキスなどの食品副原料や粉乳調整品などの乳製品の販売数量が減少したものの、価格競争力のある輸入品の調達に拡大に努め、既存取引先への拡販を強化したことなどにより、主力商品であるビタミンCなどの食品副原料、業務用殺菌乳をはじめとする乳及び乳製品、ウーロン茶やジャスミン茶などの茶類や果汁などの農産物加工品の販売数量が増加いたしました。

この結果、卸売事業の売上高は30,236,935千円（前年同期比10.5%増）となりました。

<製造販売事業>

アイスクリームを主とする氷菓市場は、冬場の需要が増加したことやデザートとしての地位が定着したこともあり、市場規模が拡大しております。メーカー各社は、風味・食感に注力して新しい商品開発を推し進め、幅広い需要を喚起しております。

このような状況のもと、当社グループは美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の効率化及び品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。また、消費者の健康志向の高まりに着眼した植物性100%・砂糖不使用・アレルギーフリーの氷菓である「甘糍（あまこうじ）アイス」を平成29年秋に上市し、NB商品の拡販に努めてまいりました。しかしながら、主要取引先である外食店向け期間限定業務用バルクアイスの使用数量が前年に比べ減少したことから、製造販売事業の売上高は670,862千円（前年同期比5.5%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、FC事業がありますが、当社グループは東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しており、集客力の向上や店舗運営の基本であるSQC（サービス、クオリティ、クリンネス）のレベルアップに努めてまいりました。大手町地区のビル再開発にともなう就労人口が減少したものの、お客様のニーズに対応すべくイートインコーナーを設置したことから日販が増加し、その他の事業の売上高は778,841千円（前年同期比1.6%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の取引を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、主に受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加により9,956,778千円(前年同期比32.7%増)になりました。また、固定資産は、1,240,238千円(前年同期比3.0%増)になり、この結果、当連結会計年度末における資産は11,197,016千円(前年同期比28.6%増)となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、主に買掛金及び未払金の増加により、7,238,368千円(前年同期比37.7%増)となりました。また固定負債は、主に長期借入金の増加により1,650,580千円(前年同期比24.2%増)となりました。この結果、当連結会計年度末における負債は8,888,949千円(前年同期比35.0%増)となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、主に利益剰余金の増加により、2,308,067千円(前年同期比8.7%増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,820,721千円(前年同期比4.9%増)となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、64,347千円(前年同期は291,592千円の収入)となりました。これは主に売上債権及びたな卸資産が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、84,395千円(前年同期比431.8%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得にともなう支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、250,761千円(前年同期比57.9%増)となりました。これは主に長期借入金による収入によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第28期 平成26年3月期	第29期 平成27年3月期	第30期 平成28年3月期	第31期 平成29年3月期	第32期 平成30年3月期
自己資本比率(%)	22.0	24.8	25.0	23.8	20.2
時価ベースの自己資本比率(%)	28.4	32.6	29.1	29.2	38.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	2,579.6	689.4	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	6.2	30.7	—

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 第28期及び第29期、第32期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、緩やかな回復基調が期待されるものの、米国の政策動向や中国をはじめとするアジア新興国等の経済動向による海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響など、景気の先行きについては不透明な状況が続いていることから、企業の経営環境は依然として厳しい状況で推移することが予想されます。また、食品原材料の調達に関しましては、原材料価格の高騰、新興国の旺盛な需要による食料需給の逼迫、気候変動による農産物の価格変動など、今後は各国において食料確保に向けた取組みがより強化されていくものと思われま

す。
このような経営環境のもと、当社グループは、国内外の市場動向や多様な消費者ニーズを迅速に捉え、食の安全性の確保と安定供給の継続を第一に顧客サービスの一層の充実に向け、収益の拡大を図るとともに、品質管理体制をさらに強化し、調達網の拡大に注力してまいります。平成31年3月期におきましては、事業の選択と集中を加速し、「サービス、クオリティの向上による既存事業の基盤強化」「ワンストップビジネスモデルの確立」「戦略商品の更なる拡販及び輸出事業の拡大」をテーマとした予算編成方針のもと、予算を策定しております。取引先のニーズに合った提案営業を行い既存事業の深耕に努めるとともに、新規事業及び海外事業展開の強化を図ってまいります。

以上により、平成31年3月期通期の業績予想といたしましては、売上高31,500,000千円（当年同期比1.5%増）、営業利益463,000千円（当年同期比5.4%増）、経常利益477,000千円（当年同期比3.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益315,000千円（当年同期比5.0%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の伸長に沿った適正な利益配分の継続と安定的な配当水準の維持を基本方針としております。

当期の配当金は、当初公表させていただいている通り、1株当たり33円を予定しております。なお、次期の配当につきましても、上記の方針を踏まえ、1株につき33円の年間配当金とする予定であります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、オーウイル株式会社(当社)及び子会社である株式会社サンオーネスト、並びに海外子会社のO'WILL(ASIA)HOLDINGS PTE.LTD.、J.S.O'will, Inc.にて構成されており、その主な事業内容は以下の通りであります。

① 卸売事業

食品、飲料の製造や保存・加工などに使用するビタミン類、食品添加物、殺菌乳、野菜果実加工品等の原料や窒素、珪藻土等の資材を国内外より調達して取引先に販売するほか、大手量販店及びコンビニエンスストア向けPB(プライベートブランド)飲料製品の販売等を行っております。また、米国子会社においては、業務用ヒーターを扱っております。

② 製造販売事業

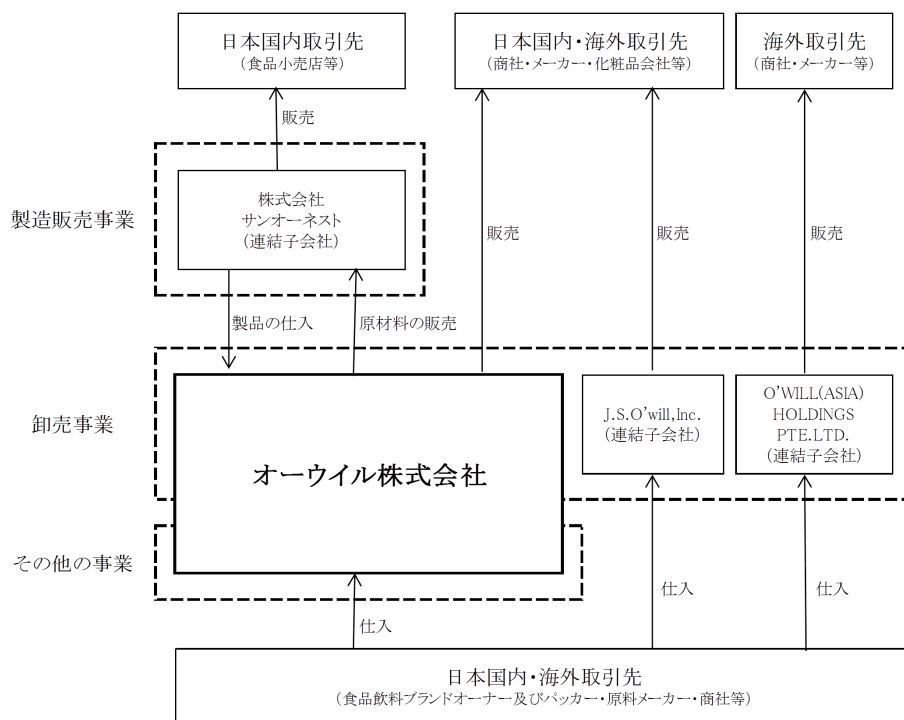
子会社の株式会社サンオーネストにて、アイスクリームの製造・販売を行っております。

③ その他の事業

コンビニエンスストアのエリアフランチャイジー事業等を行っております。

[事業系統図]

当社グループの事業内容を系統図によって示すと、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,735,586	1,820,721
受取手形及び売掛金	3,883,846	5,432,843
商品及び製品	1,146,967	1,575,866
未着商品	394,392	589,708
原材料及び貯蔵品	25,363	25,955
未収入金	253,124	445,770
繰延税金資産	22,605	44,751
その他	47,150	27,590
貸倒引当金	△4,300	△6,430
流動資産合計	7,504,737	9,956,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	417,581	432,980
減価償却累計額	△178,046	△175,669
建物及び構築物(純額)	239,535	257,311
機械及び装置	104,373	126,951
減価償却累計額	△47,459	△59,844
機械及び装置(純額)	56,913	67,107
車両運搬具	27,620	27,656
減価償却累計額	△20,652	△24,413
車両運搬具(純額)	6,968	3,243
工具、器具及び備品	125,933	134,786
減価償却累計額	△104,547	△107,474
工具、器具及び備品(純額)	21,385	27,312
土地	9,000	9,000
リース資産	144,268	191,168
減価償却累計額	△90,285	△117,379
リース資産(純額)	53,983	73,789
建設仮勘定	—	8,700
有形固定資産合計	387,786	446,464
無形固定資産		
ソフトウェア	51,958	23,542
その他	1,638	1,638
無形固定資産合計	53,596	25,181
投資その他の資産		
投資有価証券	481,531	487,659
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	90,302	89,665
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	763,101	768,592
固定資産合計	1,204,484	1,240,238
資産合計	8,709,222	11,197,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,812,716	5,323,541
1年内返済予定の長期借入金	747,692	791,964
リース債務	9,387	32,238
未払金	540,761	825,951
未払法人税等	59,183	137,476
賞与引当金	35,778	38,521
その他	51,209	88,675
流動負債合計	5,256,729	7,238,368
固定負債		
長期借入金	1,194,168	1,522,624
リース債務	58,948	55,345
繰延税金負債	70,618	68,097
資産除去債務	4,435	4,513
その他	992	—
固定負債合計	1,329,163	1,650,580
負債合計	6,585,893	8,888,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,213,265	1,418,905
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,868,998	2,074,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,622	169,873
繰延ヘッジ損益	3,244	△7,165
為替換算調整勘定	35,790	23,775
その他の包括利益累計額合計	204,656	186,483
非支配株主持分	49,674	46,945
純資産合計	2,123,329	2,308,067
負債純資産合計	8,709,222	11,197,016

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	28,121,963	31,033,847
売上原価	25,660,893	28,352,414
売上総利益	2,461,070	2,681,432
販売費及び一般管理費	2,134,683	2,242,048
営業利益	326,386	439,383
営業外収益		
受取利息	217	386
受取配当金	7,369	7,522
為替差益	3,704	22,396
受取手数料	6,444	6,444
受取補償金	2,663	4,493
その他	1,156	690
営業外収益合計	21,555	41,934
営業外費用		
支払利息	9,505	9,981
支払補償費	5,854	4,172
その他	1,244	5,378
営業外費用合計	16,605	19,532
経常利益	331,336	461,785
特別損失		
クレーム補償費	14,759	—
減損損失	—	9,040
特別損失合計	14,759	9,040
税金等調整前当期純利益	316,577	452,745
法人税、住民税及び事業税	99,839	174,330
法人税等調整額	6,395	△21,615
法人税等合計	106,234	152,714
当期純利益	210,342	300,030
非支配株主に帰属する当期純利益	7,671	△102
親会社株主に帰属する当期純利益	202,670	300,132

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	210,342	300,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,983	4,251
繰延ヘッジ損益	13,920	△10,409
為替換算調整勘定	△482	△14,641
その他の包括利益合計	60,422	△20,798
包括利益	270,764	279,231
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	268,028	281,960
非支配株主に係る包括利益	2,735	△2,728

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	288,387	1,105,088	△129	1,756,733
当期変動額					
剰余金の配当			△94,493		△94,493
親会社株主に帰属する当期純利益			202,670		202,670
連結子会社株式の取得による持分の増減		4,088			4,088
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	4,088	108,177	—	112,265
当期末残高	363,387	292,475	1,213,265	△129	1,868,998

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	118,638	△10,676	31,336	139,298	99,880	1,995,912
当期変動額						
剰余金の配当						△94,493
親会社株主に帰属する当期純利益						202,670
連結子会社株式の取得による持分の増減						4,088
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,983	13,920	4,453	65,358	△50,206	15,151
当期変動額合計	46,983	13,920	4,453	65,358	△50,206	127,416
当期末残高	165,622	3,244	35,790	204,656	49,674	2,123,329

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	1,213,265	△129	1,868,998
当期変動額					
剰余金の配当			△94,493		△94,493
親会社株主に帰属する当期純利益			300,132		300,132
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	205,639	—	205,639
当期末残高	363,387	292,475	1,418,905	△129	2,074,638

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	165,622	3,244	35,790	204,656	49,674	2,123,329
当期変動額						
剰余金の配当						△94,493
親会社株主に帰属する当期純利益						300,132
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,251	△10,409	△12,014	△18,172	△2,728	△20,901
当期変動額合計	4,251	△10,409	△12,014	△18,172	△2,728	184,738
当期末残高	169,873	△7,165	23,775	186,483	46,945	2,308,067

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	316,577	452,745
減価償却費	76,327	94,797
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△400	2,130
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,457	2,743
受取利息及び受取配当金	△7,586	△7,908
支払利息	9,505	9,981
クレーム補償費	14,759	—
減損損失	—	9,040
為替差損益 (△は益)	468	7,972
売上債権の増減額 (△は増加)	△345,899	△1,557,598
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△168,143	△625,933
未収入金の増減額 (△は増加)	△161,046	△192,663
前渡金の増減額 (△は増加)	4,060	1,329
仕入債務の増減額 (△は減少)	468,635	1,514,993
未払金の増減額 (△は減少)	264,687	281,185
前受金の増減額 (△は減少)	△3,442	18,677
その他	△45,767	20,610
小計	425,193	32,101
利息及び配当金の受取額	7,586	7,908
利息の支払額	△9,494	△10,051
クレーム補償費の支払額	△14,759	—
法人税等の支払額	△130,137	△94,306
法人税等の還付額	13,203	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,592	△64,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,638	△84,735
有形固定資産の売却による収入	18	—
無形固定資産の取得による支出	△10,250	—
差入保証金の差入による支出	△154	△160
差入保証金の回収による収入	21,153	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,870	△84,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△688,763	△827,272
リース債務の返済による支出	△9,034	△27,651
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△48,854	—
配当金の支払額	△94,512	△94,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,835	250,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	674	△16,883
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	435,231	85,135
現金及び現金同等物の期首残高	1,300,355	1,735,586
現金及び現金同等物の期末残高	1,735,586	1,820,721

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容及び市場の類似性を考慮し、下記の2つを報告セグメントとしております。

区分	主要商品又は事業内容
卸売事業	飲料・食品の製造用原料、製品等の国内販売及び輸出入取引 (ビタミン類, 食品添加物, 殺菌乳, 野菜果実加工品, 飲料製品等)
製造販売事業	アイスクリームの製造販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント間の取引は、一般的な商取引と同様の条件で行っております。

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,161,270	194,147	27,355,417	766,546	28,121,963	—	28,121,963
セグメント間の内部売上 高又は振替高	198,619	515,961	714,581	—	714,581	△714,581	—
計	27,359,890	710,108	28,069,998	766,546	28,836,544	△714,581	28,121,963
セグメント利益	305,650	17,798	323,448	2,240	325,688	697	326,386
セグメント資産	8,119,892	482,042	8,601,934	492,668	9,094,603	△385,380	8,709,222
その他の項目							
減価償却費	37,575	33,441	71,016	5,310	76,327	—	76,327
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	25,539	11,348	36,888	—	36,888	—	36,888

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,072,271	182,734	30,255,006	778,841	31,033,847	—	31,033,847
セグメント間の内部売上 高又は振替高	164,664	488,127	652,792	—	652,792	△652,792	—
計	30,236,935	670,862	30,907,798	778,841	31,686,639	△652,792	31,033,847
セグメント利益	433,212	2,620	435,833	3,544	439,378	5	439,383
セグメント資産	10,997,392	527,550	11,524,943	122,240	11,647,183	△450,167	11,197,016
その他の項目							
減価償却費	57,363	32,750	90,114	4,682	94,797	—	94,797
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	52,296	81,601	133,898	1,870	135,768	—	135,768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含めない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	697	5
合計	697	5

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△385,380	△450,167
合計	△385,380	△450,167

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	2,732,386	卸売事業

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	4,333,942	卸売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自平成28年4月1日 至平成29年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）

(単位：千円)

	卸売事業	製造販売事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	9,040	—	9,040

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	658.35円	717.86円
1株当たり当期純利益金額	64.34円	95.29円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	202,670	300,132
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	202,670	300,132
期中平均株式数(株)	3,149,789	3,149,789

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,800	1,594,576
受取手形	58,394	68,722
売掛金	3,637,607	5,269,529
商品及び製品	1,091,760	1,556,611
未着商品	401,968	593,019
前渡金	1,367	52
前払費用	19,321	20,197
関係会社短期貸付金	25,200	28,400
未収入金	269,538	465,918
為替予約	4,692	—
繰延税金資産	20,469	39,798
その他	4,171	4,290
貸倒引当金	△4,100	△6,000
流動資産合計	7,051,191	9,635,115
固定資産		
有形固定資産		
建物	184,986	160,547
減価償却累計額	△97,533	△88,113
建物(純額)	87,453	72,433
機械及び装置	7,500	7,500
減価償却累計額	△7,499	△7,499
機械及び装置(純額)	0	0
車両運搬具	12,032	12,032
減価償却累計額	△10,314	△11,175
車両運搬具(純額)	1,718	856
工具、器具及び備品	58,305	62,215
減価償却累計額	△42,491	△44,705
工具、器具及び備品(純額)	15,813	17,509
土地	9,000	9,000
リース資産	—	46,900
減価償却累計額	—	△18,564
リース資産(純額)	—	28,335
有形固定資産合計	113,985	128,135
無形固定資産		
ソフトウェア	51,397	23,262
その他	1,158	1,158
無形固定資産合計	52,556	24,421
投資その他の資産		
投資有価証券	481,531	487,659
関係会社株式	304,595	304,595
関係会社長期貸付金	215,800	253,400
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	80,706	80,346
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	1,273,900	1,317,268
固定資産合計	1,440,441	1,469,825
資産合計	8,491,632	11,104,940

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,731,022	5,348,232
1年内返済予定の長期借入金	747,692	791,964
リース債務	—	22,482
未払金	534,008	812,832
未払費用	13,784	12,597
未払法人税等	58,886	136,079
前受金	—	18,677
預り金	13,837	14,420
賞与引当金	35,778	38,521
為替予約	—	10,327
その他	3,385	13,707
流動負債合計	5,138,396	7,219,842
固定負債		
長期借入金	1,194,168	1,522,624
リース債務	—	6,153
繰延税金負債	66,575	65,957
資産除去債務	4,435	4,513
固定負債合計	1,265,179	1,599,247
負債合計	6,403,575	8,819,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金		
資本準備金	288,387	288,387
資本剰余金合計	288,387	288,387
利益剰余金		
利益準備金	2,465	2,465
その他利益剰余金		
別途積立金	50,000	50,000
繰越利益剰余金	1,215,081	1,419,032
利益剰余金合計	1,267,546	1,471,497
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,919,191	2,123,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	165,622	169,873
繰延ヘッジ損益	3,244	△7,165
評価・換算差額等合計	168,866	162,708
純資産合計	2,088,057	2,285,850
負債純資産合計	8,491,632	11,104,940

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	27,319,473	30,488,071
売上原価		
商品期首たな卸高	956,898	1,091,760
当期商品仕入高	25,305,055	28,549,238
合計	26,261,953	29,640,998
商品期末たな卸高	1,091,760	1,556,611
商品売上原価	25,170,193	28,084,387
売上総利益	2,149,280	2,403,684
販売費及び一般管理費	1,869,876	1,969,910
営業利益	279,403	433,774
営業外収益		
受取利息	5,010	2,758
受取配当金	7,369	7,522
為替差益	2,876	23,089
受取手数料	6,444	6,444
受取補償金	2,594	4,425
その他	746	255
営業外収益合計	25,041	44,494
営業外費用		
支払利息	6,411	7,237
支払補償費	4,105	4,172
その他	182	4,929
営業外費用合計	10,700	16,340
経常利益	293,745	461,928
特別損失		
クレーム補償費	14,759	—
減損損失	—	9,040
特別損失合計	14,759	9,040
税引前当期純利益	278,985	452,888
法人税、住民税及び事業税	96,321	171,656
法人税等調整額	△252	△17,213
法人税等合計	96,069	154,443
当期純利益	182,915	298,444

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,126,659	1,179,124	△129	1,830,769
当期変動額									
剰余金の配当						△94,493	△94,493		△94,493
当期純利益						182,915	182,915		182,915
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	88,422	88,422	—	88,422
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,215,081	1,267,546	△129	1,919,191

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	118,638	△10,676	107,961	1,938,731
当期変動額				
剰余金の配当				△94,493
当期純利益				182,915
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,983	13,920	60,904	60,904
当期変動額合計	46,983	13,920	60,904	149,326
当期末残高	165,622	3,244	168,866	2,088,057

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,215,081	1,267,546	△129	1,919,191	
当期変動額										
剰余金の配当						△94,493	△94,493		△94,493	
当期純利益						298,444	298,444		298,444	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									—	
当期変動額合計	—	—	—	—	—	203,950	203,950	—	203,950	
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,419,032	1,471,497	△129	2,123,142	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	165,622	3,244	168,866	2,088,057
当期変動額				
剰余金の配当				△94,493
当期純利益				298,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,251	△10,409	△6,157	△6,157
当期変動額合計	4,251	△10,409	△6,157	197,793
当期末残高	169,873	△7,165	162,708	2,285,850